

「環境にやさしい農産物」の生産に向けた研修会を開催

環境に配慮した栽培歴の見直しにつなげるため、「グリーンな栽培体系への転換サポート事業（グリサポ）」の活用促進を目的とした研修会を開催し、関係者の交付金を活用した取組を後押し

○ 施策分類

みどりの食料システム戦略

○ きっかけ・背景、課題の把握

環境に配慮して生産される農産物を拡大するためには、栽培歴の見直しが重要であり、日置市において、グリサポを活用した優良事例があることから、グリサポを含むみどり戦略交付金の活用推進を図るため、研修会を企画した。

○ 取組の内容

自治体や農業団体の担当者を参集し、日置市において、グリサポ等の活用促進を目的とした研修会を開催。担当者の参集に当たっては、県や県経済連等と連携して案内し、県内から26団体47名が参加した。

○ 効果・成果、今後の方向性

研修会では、日置市茶部会によるASIAGAP及び有機JAS認証取得による輸出に関する座学、日置市内の家庭ごみを利用し製造される生ごみたい肥施設と同市内で「グリサポ」を活用し有機茶に取り組んでいる茶農家の視察を実施。参加者からは「生ごみから堆肥を製造する取組についてとても勉強になった」、「『グリサポ』の活用について検討したい」等、声があった。今後も、環境に配慮して生産される農産物の拡大につながるよう、みどり戦略交付金を活用した取組を支援する。



日置市茶部会の取組等（座学）



生ごみたい肥施設の視察



茶製造工場前での説明



茶農家圃場での説明

体制図

みどりの食料システム戦略推進鹿児島県連絡協議会（生産分科会）

協議会事務局（鹿児島県拠点・鹿屋駐在所） ← 連携 → 日置市

グリサポの活用促進を目的とした研修会を開催

【研修会 内容】

- ・ASIAGAP及び有機JAS認証取得による輸出に関する座学
- ・生ごみたい肥施設の視察
- ・グリサポを活用した有機茶農家の視察

自治体、農業団体から26団体、47名が参集

生ごみから堆肥を製造する取組についてとても勉強になった

『グリサポ』の活用について検討したい